

令和8年度

浦庄学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

「聴く・話す・学び合う」力を定着させることで、主体的に問題解決に向かう児童を育成する。

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや計算など、各学年における基礎的・基本的な学習に取り組める児童が多い。 ●上の学年に進むにつれて、学力の差が広がる傾向があり、文章の内容を正確に理解する力や、学習したことを言葉や文章で表現したり、生活に生かしたりできる力に課題が残る児童もいる。	・既習の漢字やローマ字の読み書きを使って、文章の内容を正確に読み取ることができる。 ・語彙を増やし、身につけた知識を、他の学習や生活の場面で活用することができる。	・朝活などで、練習問題に取り組む時間を確保し、継続的にミニテストを行い、基礎的内容の定着を図る。 ・教科書の巻末資料や辞書、タブレットを積極的に活用し、語彙を増やす。 ・効果的なノートの取り方を指導し、板書や文章の正確な視写の活動を積極的に取り入れ、助詞や漢字の使い方に慣れさせる。文節や言葉のまとまりもとらえられるようにする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを伝えようとしている児童が多い。 ●友達の意見を聞きながら、自分の考えと比べたり質問や反応をしたりすることに課題がある。	・相手の話を最後まで聞くことができる。 ・理由や根拠を示しながら、自分の考えを伝えたり、友達の考えから学び、自分の考えと比較しながら聞いたりすることができる。	・ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。 ・自分の考えを書く機会を増やしたり、相手の意見に対して自分の考えを根拠や理由を明らかにしながら伝えたりする学習活動を意図的に設定する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業や家庭学習で与えられた課題にきちんと取り組むことができる児童が多い。 ●難しい課題になると、諦めて最後まで取り組むことができなかつたり受け身になつたりする児童がいる。	・「浦庄スタイル」に則った聞き方話し方ができる。 ・決められた課題だけでなく、新たな疑問や次に向けての課題を自分なりに解決していくことができる。	・学び合う授業のための「浦庄スタイル」の定着に向けて丁寧に指導していく。 ・本時のめあてを提示し、目的をもって学習に取り組めるようにする。 ・学びのまとめを提示し、できるようになつたことに気づかせたり、課題をもたせたりする。			